

近・現代哲学

責任者：遠藤 寿一 准教授
担当講座（科）：人間科学科（哲学分野）

講義 21 時間
単位 1 単位

学 年

1 学年 前期

学習方針

基本理念：

哲学はロゴスの学、すなわち、正しい言葉・思考を通じて真理に到達することを目指す学問だと言われることがある。しかし、正しい言葉・思考とは何だろうか。「哲学」の授業では、いわゆる超常現象・不思議現象を題材として、論理、知識、信念、証拠、実在等、哲学の重要概念を検討し、合理的な考え方、あるいは、科学的な思考とは何かを学んでもらう。

一般目標（GIO）：

日常生活の中で耳にするうわさ話から専門書の中で展開される学術的な見解まで、現代社会には様々なレベルの主張が存在している。「近・現代哲学」では、どのような主張・意見であれ、それを支える証拠と論理を、公平かつ多面的に検討し、一定の基準に基づいて適切に評価する能力を身につける知的基礎体力の習得を目指す。

到達目標（SBOs）：

以下の項目について説明することができる。また、以下の項目にしたがって、具体的な主張の妥当性を判断できる。

1. 論理的思考と科学的思考の違い
2. 体験・経験の確からしさの限界
3. 実在論と相対主義の関係
4. 信頼できる知識とそうでない知識の違い
5. 妥当な推論と誤った推論の基本形式
6. 科学的方法
7. 科学と疑似科学の区別

講義日程

(第1講義室)

月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
4/20	月	3	哲学分野	遠藤 寿一 准教授	不思議現象への問いかけ 超常現象に対する様々なアプローチがあることを確認する。
4/27	〃	〃	〃	〃	不可能の可能性 「可能性」という概念に様々なレベルがあることを理解する。
5/11	〃	〃	〃	〃	個人的体験と真実 知覚・記憶・判断の信頼度を検討する。
5/18	〃	〃	〃	〃	知識・信念・証拠 (1) 知識・信念・証拠の関係を考察する。
5/25	〃	〃	〃	〃	知識・信念・証拠 (2) 合理的な知識とはどのようなものかを検討する。
6/1	〃	〃	〃	〃	証拠と推論 (1) 誤りやすい推論のパターンを確認する。
6/8	〃	〃	〃	〃	証拠と推論 (2) 誤謬推論と論理形式の関係を考察する。
6/15	〃	〃	〃	〃	中間総括 (1) ビデオ教材を使用して既習事項を整理する。
6/22	〃	〃	〃	〃	中間総括 (2) ビデオ教材を使用して既習事項を整理する。
6/29	〃	〃	〃	〃	科学と疑似科学 (1) 科学方法論の展開を追跡する。
7/6	〃	〃	〃	〃	科学と疑似科学 (2) 科学と疑似科学の違いを検討する。
7/13	〃	〃	〃	〃	奇跡の治療 (1) 疑似科学的な治療の非合理性を確認する。
8/24	〃	〃	〃	〃	奇跡の治療 (2) 科学的治療法と疑似科学的治療法の違いを検討する。
8/31	〃	〃	〃	〃	まとめ 超常現象・不思議現象の合理性を検討する。

教科書（教）・参考文献（参）・推奨図書（推）

	書名	著者名	発行所	発行年
教	クリティカルシンキング －不思議現象編－	T. シック・ジュニア L. ボーン	北大路書房	2004

成績評価方法

筆記試験（80点）＋平常点（20点）＝100点

オフィスアワー一覧

授業を担当する専任教員氏名	方式	曜	時間帯	備考
哲学分野 遠藤 寿一	A-i	月～金	昼～午後5時	事前に電話やメールがあると確実です。